

きもべつちょう 喜茂別町

羊蹄山の恵みがそっと寄り添う、やさしいまち

～喜茂別町について～

北海道・後志地方の内陸にある喜茂別町は、羊蹄山と尻別岳に抱かれた、自然豊かな小さなまちです。町の中央を流れる喜茂別川、山々から湧き出る清らかな水、四季の移ろいを感じる風景。ここには、どこか懐かしく、心がふっとほどけるような時間が流れています。人口約2,000人。大きなまちではありませんが、自然の恵みを大切にしながら、農業や観光を中心に、地域の魅力を育て続けています。

町木・エゾヤマザクラ▶



■農業——“おいしい”が生まれる場所

喜茂別町の農業は、自然の恵みをそのまま味に変える力を持っています。

畑に立つと、土の香り、風の音、太陽の光が、作物を育てていることを感じられます。この土地の気候と土壌、そして生産者の“ていねい”な仕事が、喜茂別町ならではの“おいしさ”を生み出しています。



とうもろこし

夏の主役。昼夜の寒暖差が、甘さと香りをしっかり引き出してくれます。ゆでた瞬間に広がる香りは、まさに夏そのものです。



アスパラガス

春の訪れを知らせる、喜茂別町の代表作物。太くて甘く、みずみずしいアスパラは、地元でも大人気です。収穫の時期には、朝採れのアスパラが直売所に並び、季節の楽しみになっています。

じゃがいも(男爵・きたあかり など)

ホクホクとした食感が魅力のじゃがいもは、喜茂別町を代表する作物の一つです。畑の土が軽く、水はけが良いことが、品質の安定につながっています。加工用としても評価が高く、多くの食品メーカーに選ばれています。



乳製品

自然豊かな環境で育つ牛たちが生み出す生乳は、品質の高さが自慢です。チーズやソフトクリームなど、まちの味として親しまれています。

■観光——羊蹄山を望む、四季のまち

喜茂別町には、自然をゆっくり楽しめる場所がたくさんあります。どの季節に訪れても、違った魅力に出会えるのが、このまちの良さです。

中山峠

札幌からのアクセスも良く、羊蹄山を望む絶景スポットとして知られています。名物の「あげいも」は、旅の途中のちょっとしたご褒美です。

郷の駅 きもべつ

地元の食材を使った料理や特産品が並ぶ、まちの“玄関口”のような場所。観光客も地元の人も集まる、あたたかい雰囲気が魅力です。

羊蹄山麓の自然

登山、サイクリング、キャンプなど、四季を通して楽しめる自然が広がっています。春の新緑、夏の爽やかな風、秋の紅葉、冬の雪景色。どの季節も、喜茂別らしい表情を見せてくれます。

